

【様式 01】 高大連携公開授業シラバス

* 科目 No. 40105

1. 開設大学	福山大学 工学部	開講場所 (キャンパス・施設)	本学
2. 科 目 名	地域防災基礎		
	学問分野	番 号	45 名 称 その他 (防災・減災)
3. 担当教員	宮内 克之 工学部教授 他 10 名		
4. 開講学期	前期 週 1 コマ		
5. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 31 年 4 月 10 日 (水) ~ 平成 31 年 7 月 24 日 (水) 14 時 40 分 ~ 16 時 10 分 ※5/18 (土) も同時刻に行う		
個別開講日	1 回目 4/10	2 回目 4/17	3 回目 4/24
	4 回目 5/8	5 回目 5/18	6 回目 5/22
	7 回目 5/29	8 回目 6/5	9 回目 6/12
	10 回目 6/19	11 回目 6/26	12 回目 7/3
	13 回目 7/10	14 回目 7/17	15 回目 7/24
6. 募集定員	20 人 (総授業定員 人)		
7. 科目内容・ 授業計画	災害時に自分の身を自分で守り、また周囲の人たちと協力して被災者を支援できる防災リーダーの養成を目的としている。そのためには、災害への備えに対する知識や災害対応技術を習得して、災害対応能力を高める必要がある。本講義と後期の「地域防災応用」を受講し、防災士認定試験の受験資格を得ることを目指す科目です。 授業予定 1. 概説、防災士の役割 (宮内) 2. 近年の自然災害に学ぶ (山本) 3. 地震・津波のしくみと被害 (宮内) 4. 風水害と対策 (尾島) 5. 川・水が語る日本の近代史 (尾島) 6. 最新の地震活動、地震危険情報 (中村) 7. 災害情報と災害報道 (福田) 8. 防災気象情報の知識と活用 (熊谷) 9. 意思決定訓練 (磯打) 10. 土砂災害と対策 (宮内) 11. ライフラインと被害 (神宮) 12. 火山噴火のしくみと被害 (田辺) 13. 災害・避難情報の入手と発信 (山口) 14. 火災と防火対策 (青山) 15. 被害想定・ハザードマップと避難行動 (山口)		
8. 受 講 料	無料		
9. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) 資料配布。希望者はテキスト (3,200 円予定) を購入。		
10. 学習記録	交付する		○交付しない
11. 科目等履修生	受け入れる		○受け入れない
	単 位 数	単 位	
	受入学年	高校 年生以上 (二次募集時 年生)	
	試験・評価		
	特記事項		
12. 開講条件※1 あり	① 最少開講人数 (人) 本学大学生の受講が 10 名以下の場合是不開講となります。 ② 不開講通知日 (7 月 12 日 (金) 以前の開講科目は 3 月末まで / 7 月 13 日 (土) 以降の開講科目は 6 月末まで)		
13. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 初回 (4 月 10 日) の集合場所: 本学 2・3・4 号館 1 階工学部事務室前ロビー		
14. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/→福山大学→アクセス→スクールバス運行表 (通常期)		

※1 申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。